

## 2月の基調判断

新型コロナウイルス感染症の再拡大により、一部に停滞感もみられる

製造業	➡	緩やかな持ち直し	住宅着工	➡	横ばい
観光	➡	弱い動き	公共工事	➡	堅調に推移している
小売店販売	➡	一部に弱さがみられるも、横ばいの動き	雇用	➡	下げ止まりつつある
乗用車販売	➡	横ばい	企業倒産	➡	低水準で推移している

[直近の3ヵ月(12月~2月)の変化の方向] ➡上向き ➡横ばい ➡下向き

注) 小売店販売は、百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンター、家電大型専門店の販売動向

## 大分県の主要経済指標の動き

	2019.12	2020.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
鉱工業生産指数	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	○	●	—
小売店販売額	●	○	○	●	●	○	○	○	○	●	○	○	○
乗用車・軽乗用車販売台数	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○
新設住宅着工戸数	●	○	○	○	●	●	○	●	●	○	○	●	●
公共工事保証請負額	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	●	○	○
ホテル宿泊客数	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
新規求人数	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
企業倒産件数	●	●	●	○	●	●	○	○	●	●	△	△	△
プラス指標の割合	12.5	37.5	37.5	50.0	0.0	25.0	50.0	37.5	12.5	25.0	50.0	37.5	42.9

注) 1. 指標は前年同月比較 ○=前年比好転 △=前年並み ●=前年比悪化

2. 鉱工業生産指数は公表日の関係から最新月「—」表示

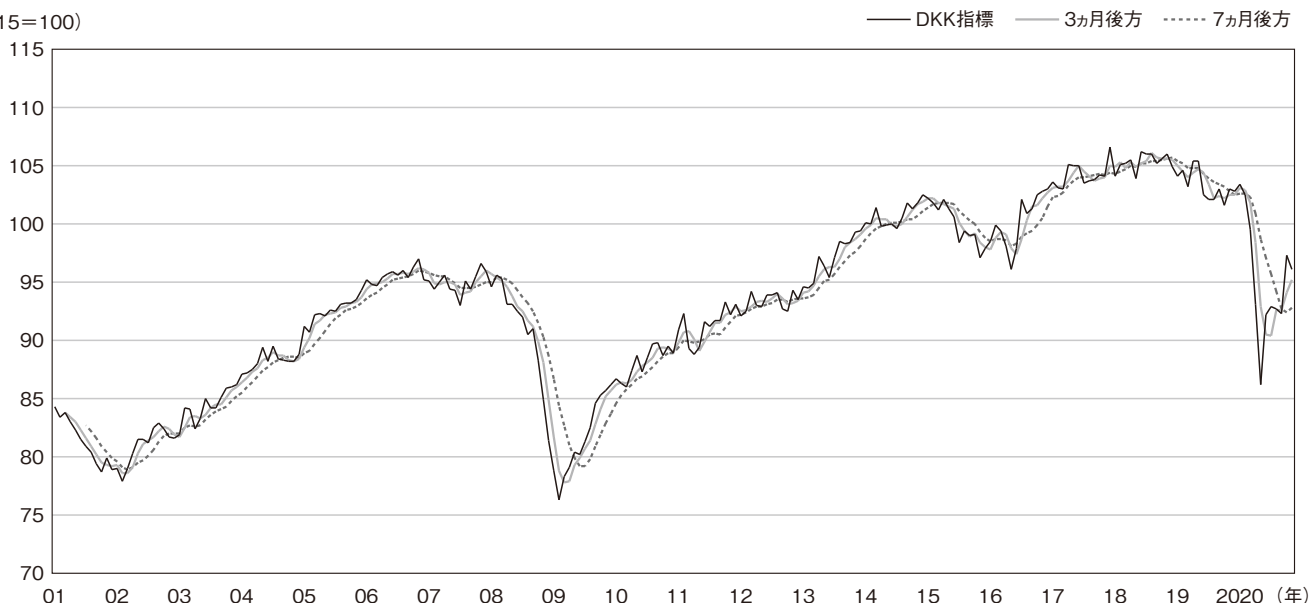
3. 小売店販売額は、百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンター、家電大型専門店の合計

4. 公共工事保証請負額は西日本建設業保証分

5. ホテル宿泊客数は県内宿泊施設の計

## DKK 指標 (2020年11月)

(2015=100)



注) 3ヵ月後方移動平均は足元の変化をつかみやすく、7ヵ月後方移動平均は変化が定着しつつあることを確認する値。

※本指標は、大銀経済経営研究所オリジナルの景気指標です。大分県経済の把握に重要と判断した指標についてCIモデルによる分析を通じて算出したものです。

DKK 指標 (CI) によると、11月の指数は前月比▲1.2の96.1と2ヵ月ぶりに低下しました。項目別では、「新車販売台数」や「小売店販売額」、「鉱工業生産指数」などがマイナスに寄与しました。